

平成29年度 自己点検・自己評価表

八幡橋幼稚園

1、本園の教育目標

子どもたちは、それぞれ個性も可能性もさまざまです。そうした子どもたちの能力を多角的な面からひきだすために、本園では、身近な自然を保育の題材に取り入れたり、絵本の読み聞かせに力を入れ、最適な環境作りを目指しています。幼児は、心と身体を動かして、様々なあそびを体験します。友だちと心を通わせ、生活に必要な言葉や表現を習得したり、自主的に環境と関わっていきます。

明るく、素直に、のびのびと創造性を発揮しながら、心身ともに健やかな子どもたちを育てていきたいと思っています。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって教諭自らが客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点目標とする。

3、評価項目の達成及び取り組み状況

A：大変よい B：よい C：一部検討を要する D：改善を要する

評価項目	結果	理由
保育・教育目標について、幼児の実態の踏まえ、園や地域の特色の生かし、社会の要請や保護者の願いの反映、前年の反省、全教職員で共通理解する。	A	幼稚園教育要領を理解し、全教職員で積極的に保育に反映させている。小学校学習指導要領や保育所保育指針についても理解を深め、実践していけるよう研修会、他園の公開保育などに積極的に参加し学んだことを保育に生かしている。
指導について、計画は幼児の実態に即し、幼稚園教育要領に基づく指導援助を行い、教材・教具を適切に活用しているか。	A	子どもたちがやりたいと思うことを察知した指導計画を作成している。本園の教育方針への理解を深め、日々の子どもの姿や、保育内容について話し合い、教員が切磋琢磨して保育力の向上に努めている。
行事について、回数は適切か、ねらいが生かされているか、子どもの生活に即しているか、保護者の意見や願いが取り入れられているか。	A	四季を取り入れたねらいを持って取り組んでいる。行事は常に子ども主体とし、無理のないよう計画を立てて実施している。保護者からアンケートを取り、行事等についての建設的な意見を積極的に取り入れ、見直すべきところはその改善に努めるようにしている。

施設設備について、安全点検実施、遊具・用具・教材などの整理保管、不審者対応の配慮、掲示板の活用をおこなっているか。	A	毎月の避難訓練（火災・津波）の他、交通安全指導を関係者と取り組んでいる。地域の小中学校、保育園と一緒に広域避難場所への歩行訓練を行っている。不審者対応訓練研修に参加し、最新の情報や対応方法を取り入れている。
開かれた幼稚園づくり、学校間での交流・連携、また家庭・地域社会との連鎖図られているか。	B	近隣の保育園と公園で遊んだり、姉妹保育園にはバスで訪問し交流を持ち、また小学校は6年生の歌聞かせがあり、園で子どもたちと一緒に、活動に参加してもらっている。入学する小学校との交流会にも積極的に参加している。保護者には、保育参加と称し、一日園児たちと活動をとみにしている。

4、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
環境整備	補修、改修を積極的に行い施設の安全を強化する。また様々な情報を速やかに文書配布やメール配信し、状況を伝えていく。
指導計画の編成	新教育要領に基づいた指導計画の作成のために訂正、加筆を加え、園を取り巻く環境や子どもの実態に即した新たな要素を加味した指導計画書の編成に取り組んでいきたい。
幼稚園に対する保護者の満足度の把握	月一回を目安に保護者会を実施し、常に保護者とのコミュニケーションを大切にしている。また常に保護者に声かけを行い、意見、要望等が園長、主幹教諭をはじめ全職員に聞き入れるような体制をより強化していきたい。

5、財務状況

財務全般について、公認会計士により適正に運営されていると認められる。

以上